



市政報告

6月18日

第306回 南国市議会定例会

6月18日開会の第306回南国市議会定例会で、浜田純市長は各議案理由の説明に先立ち、「新しい市立図書館は旧法務局とし、平成17年4月の開館に向け作業に入りたいと考えています。また、漫画家やなせたかしさんから『ごめんなさい』と『ありがとう』という言葉駅名に活用し、ごめん・なはり線後免町駅を『愛称：ありがとう駅』と呼ぶことにより、まちの活性化と鉄道利用の増進に役立てたらどうかという提案をいただいていた。後免町の住民グループも『ごめん生姜アメ』や『ハガキでごめんなさい』などの活動で盛り上がりを見せています。7月4日実施予定の鉄道開通2周年イベント開催時から、『愛称：ありがとう駅』と呼ぶ方向で作業を進めています」と述べた後、主要な各課題について報告しました（内容は、あらましです）。

財政状況

中期的展望を見据えた

財政健全化計画の策定

国と地方財政の三位一体改革の初年度となる本年度は、国庫補助負担金の削減とともに、臨時財政対策債を含む地方交付税が大幅な減額となりました。今後の三位一体改革の進行により、さらに財政状況は危機的状況になることが予想され、従来の財政構造改革方針で掲げた手法では限界があると認識し、この状況が乗り切るためには、全職員が一丸となり、市民のご理解とご協力を得ながら、抜本的な改革が必要です。

現在、中期的展望を見据えた本年度から平成18年度までの財政健全化計画の策定に取り組んでいます。

平成15年度一般会計の決算

見込は、減債基金、ふるさとづくり基金などから約2億8千500万円を繰り入れし、3億2千510万4千円の黒字となりますが、翌年度に繰り越すべき財源を控除しますと、実質収支は5千54万6千円の黒字となります。このうち、減債基金に2千600万円を積み立て、翌年度繰越金は、2千454万6千円となります。

行政改革

行政改革大綱策定

平成16年度から平成20年度までの5力年間を実施期間とする南国市行政改革大綱を策定しました。

この大綱は、市民が主役、自主自立、成果主義、スリム化、スピーディ、市民協働を基本理念に掲げ、開かれた市政運営、スリムで効率的な市政運営、健全な財政運営、職員の意識改革と能力開発、市民との協働による諸施策の推進を改革項目としています。

介護保険事業

利用者の立場に立ち公正で良質なサービスを提供

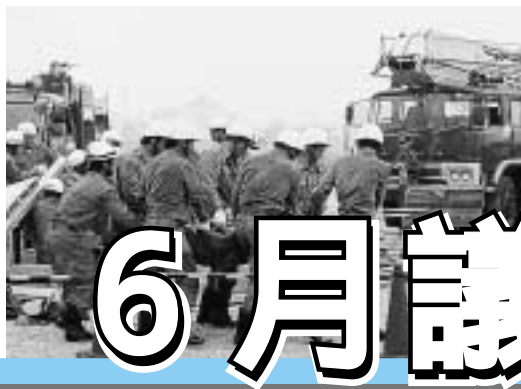
介護サービスを利用者の立場に立つて、公正でより良質なサービスとするため、5月19日に「南国市介護サービス事業所協議会」を設立しました。今後、サービス情報の交換やサービス内容の改善、苦情処理等の諸課題の解決に向け、同事業所協議会と連携して取り組んでいきます。

防災対策

地震後の津波襲来を想定し 避難訓練を実施

6月6日、物部川右岸河川敷を主会場に県主催の防災訓練が実施されました。市では、東南海・南海地震後の津波の襲来を想定した避難訓練を南部地域の消防団員の協力により久枝・前浜・下島地区の135名の地区住民が参加して同地区の避難場所である伊都多神社まで徒歩での避難状況を検証しました。

また、市内すべての小・中学校を対象に東南海・南海地震に備えて、県所有の起震車での体感やビデオでの学習を実施しました。防災に対する意識や知識を高め、「自分の命は自分で守る」ことの重要性を実感されたものと考えています。



6月議会

保育所民営化

民営化に向け説明会を開催
平成17年度の実施予定として国府保育所、後免野田保育所、稲生保育所の3園を民間に移管するべく取り組んでいます。4月26日以降、当該3園の保護者の皆様が対象とした説明会を2回開催しました。多様化する保育所ニーズに対応し、保育所機能の拡充や充実を一層図り、効率的かつ効果的な保育所運営が行われるよう、可能な限り保護者の皆様などからのご要望をお聞きし、またご質問にお答えし、ご理解をいただくよう努めていきます。

学校教育

基礎学力の向上を図る
「新しい学校づくり推進プロジェクト」により、市内小中学校3校を指定し、各校の特性や独自性を生かした創意と工夫に基づいた取り組みを行います。
具体的には、基礎学力の向上に力点を置いた指導方法・指導内容の工夫改善を図り、また、外部評価を積極的に取り入れ、保護者や地域の期待に応えることのできる学校づくりを推進します。

食教育

安心・安全な学校給食の実施
本年度から文部科学省の事業指定を受け、安心・安全な学校給食の実施に努めるとともに、食に関する指導の実践研究に取り組んでいきます。また、学校・家庭・地域の連携のもと、地産地消の取組や食生活を含む生活習慣の定着にも力をいれていきます。

交通安全対策

参加・体験型の安全教室を実施
これまで、高齢者が交通事故被害に遭わないように交通安全対策を進めてきましたが、これに加えて交通事故の加害者にならないように参加・体験型の交通安全教室を稲生地区の高齢者を対象に、4月11日に南国自動車学校で実施し好評を得ました。また、小学校新人児童に対して、通ルールを学習する交通安全教室、中学1年生に対しては、自転車の交通マナー啓発ビデオの視聴や実技講習を実施して、交通安全についての意識の向上を図りました。

ゴミ問題

廃棄物の減量化を推進
八京最終処分場について、供用開始後2年を経過しましたが、この間順調に稼働し、施設からの放流水質も基準を大きく下回っています。また、埋立容量実績も計画量と比較して2分の1以下で推移しています。

家庭系可燃ゴミは10種類にわたる分別収集や生ゴミ処理機の普及促進事業などにより、平成15年度の収集量は9千92トンで、前年度より66トン減少しています。機密文書のリサイクルなどにも取り組み、廃棄物の一層の減量に努めていきます。

道の駅南国「風良里」

会社設立以来初の株主配当
5月27日、株主総会が開催され、平成15年度の決算報告がありました。物販部門では前年のよさこい高知国体のよさこいイベントはなかったものの順調に売上げを伸ばしました。また、レストラン部門ではランチタイムで近隣事業所のビジネスマンからの支持を受けて微増となり、単年度収支では約380万円の黒字、累積収支では約1千万円の黒字経営となり、会社設立以来はじめて株主に出資金額の5%を配当しました。